



世界を旅し、感動する植物館

『ときわミュージアム 世界を旅する植物館』

プラントハンター西畠清順さん監修により、山口県宇部市に誕生

山口県宇部市（宇部市常盤町一丁目7番1号、市長：久保田后子）では、ときわミュージアム（緑と花と彫刻の博物館）にある温室が、植物の原産地の植生を再現した8つのゾーンに、特徴的なシンボルツリーを植栽し、世界を旅するように、珍しい植物や花、果実に出会う全国に誇れる「世界を旅する植物館」として、平成29年4月29日（土）にリニューアルオープンします。

ときわミュージアム
世界を旅する植物館



中庭イメージ



全体鳥瞰図

【世界を旅する植物館 植栽数】

【八つのゾーン】 ※実際に展示している種類と植数（球根数を含む。）

◇熱帯アジアゾーン	112種、500植栽数	◇北中アメリカゾーン	160種、300植栽数
◇熱帯アメリカゾーン	140種、470植栽数	◇ヨーロッパゾーン	84種、4,070植栽数
◇アフリカゾーン	70種、100植栽数	◇オセアニアゾーン	17種、80植栽数
◇南アメリカゾーン	145種、300植栽数	◇中国・アジアゾーン	10種、20植栽数

【特別展示室（ラン）】 ※バックヤード保有数含む。

◇ラン原種	211種、390株数	ラン交配種	305種、1,060株数
-------	------------	-------	--------------

※H29.3月現在

プラントハンター 西島清順さんから、みなさんへお知らせ

【全国に誇れる植物館】

僕と、ときわミュージアムとのお付き合いは、平成26年に、温室の魅力アップを考える市民ワークショップに呼んでもらったのがはじまりです。

宇部市の皆さんのときわミュージアムに対する熱い思いに惹かれて、温室リニューアルの監修もお引き受けしました。

でも、僕はほんの少しだけお手伝いしただけです。

他の人より少しだけ植物のことを詳しく知っていて、その知識を生かしただけです。

この新しい植物館で、世界中の面白い植物と出会って、世界中を旅した気持ちになってもらい、一人でも多くの植物ファンが増えてくれることを願っています。

平成29年3月30日 西島清順



【監修の中から、特に特徴的で、是非、皆さんに見ていただきたいものをご紹介します！】

【どれも、国内最大級！乞うご期待】

バオバブ

現地のバオバブを輸送中H29.1月



国内最大級



地球上に存在する最も大きな樹木とも言われ、その特徴的な姿から「上下逆さまの木」として知られています。セネガルでは国のシンボルに制定されている樹木で「一千年の木」という意味があるそうです。

植物館に、セネガルから国内最大級のバオバブがやってきます！

パラボラッチョ

スペイン語でpalo borracho (palo=木、borracho=酔っぱらい)つまり酔っぱらいの木と呼ばれるユニークな木。

また、その実からフワフワの綿が取れることから、別名「トックリキワタ」とも呼ばれます。

この木は、数々の困難を経て、清順さんがアルゼンチンから飛行機に乗せて運んできました。

そんなドラマチックでチャーム的なスーパーツリーが、皆さんを待っています。



国内最大級

オリーブ

オリーブは、「太陽の樹」とも言われ、平和と繁栄の象徴として古くから愛され、オリンピックや国連のシンボルにもなっています。



国内最大級

植物館に植栽される樹齢1000年のオリーブは、スペインから清順さんが運んだもの。先日、宇部市は、東京オリンピック・パラリンピック競技大会におけるスペインのホスト・タウンとなったばかり。

これも何かの縁があるのでしょうか。

◇ときわミュージアム 世界を旅する植物館 監修

そら植物園 代表 プラントハンター 西島 清順 Nishihata Seijun (にしはた せいじゅん)

1980年生まれ。幕末より150年続く花と植木の卸問屋、花字の五代目。

2012年、ひとの心に植物を植える活動「そら植物園」をスタート。

世界を旅する植物館 8つのゾーン概要

【熱帯アジアゾーン】

西アジアからインド、東南アジアの熱帯地域やセーシェル諸島を原産とする高温・多湿を好む植物を展示(一部、熱帯オセアニア地域原産の植物を含む。)



バナヤンツリー

【熱帯アメリカゾーン】

重さ3tを含む巨木を含め、南北アメリカの熱帯地域を原産とする高温・多湿を好む植物を集めたトロピカルゾーン



パラボラッチョ

【アフリカゾーン】

アフリカ大陸やマダガスカル、カナリア諸島を原産とするダイナミックでその場にいるだけでワクワクしてくるような植物を展示



バオバブ

【南アメリカゾーン】

サボテンなど、南アメリカの乾燥地域を原産とする植物が勢揃い。



キメンカク

【北中アメリカゾーン】

北アメリカや中央アメリカを原産とする植物で雄大な現地の風景を再現。超特大の柱サボテンをはじめ、他では見ることのできないユニークな植物たちを展示



プリンチュウ

【オセアニアゾーン】

太古から存在するシダ植物で作った森や、恐竜時代からの生き残った木、ただただ愛らしい木など、オセアニアを原産とする植物を展示



ボトルツリー

【中国・アジアゾーン】

チャイニーズガーデンに着想を得たゾーニング。

中国の孔子と縁深い学問の聖木や、植物界のパンダと呼ばれる木など、知的好奇心が刺激される中国原産の植物を展示



ハンカチノキ

【ヨーロッパゾーン】

樹齢約1000年のオリーブ、ゴッホの愛したイトスギ、国内最大級のコルクやイチゴノキなど、を原産とするユニークな植物を多数展示



ミレニウムオリーブ

写真は、各ゾーンのシンボルツリー

オープンイベント 4月29日(土)

【4月29日(土・祝) 9時30分】

◇市長と西島清順氏によるリボンオープン

◇西島清順氏によるパフォーマンスガイド(午前・午後 各約30分程度を予定)

◇回想録展『世界を旅する植物館 誕生の軌跡』(4/29~5/7まで)

リニューアルオープンまでの様子がわかるパネル展示やビデオ上映等

◇年間パスポート販売開始(9時30分~)

◇ハガキノキの葉を使ってハガキを出してみよう!(別途切手代(120円)必要)

◇リニューアルオープン記念「オリジナルカンバッジをつくろう!」

(11時~12時、14時30分~15時30分の2回。各回先着30名。有料: 1個300円)

◇ときわミュージアム 世界を旅する植物館 概要

- ・名称 ときわミュージアム 世界を旅する植物館
- ・開館時間 ときわミュージアム (9:00~17:00) 世界を旅する植物館 (9:30~16:30)
- ・休館日 火曜日(ただし、火曜日が祝日の場合は、翌日休館)、12/29~1/1
- ・入館料 植物館有料(一般300円、70歳以上200円、18歳未満無料)
- ・住所 〒755-0025 宇部市野中三丁目4番29号
- ・連絡先 TEL 0836-37-2888 E-mail museum@city.ube.yamaguchi.jp